

# VI. 社会人特別入学試験要項

## 1 募集人員

1部 (昼間部)		(人)	
学部・学科		社会人	
		I期	II期
経営学部	経営学科	若干名	若干名
	経営情報学科	若干名	若干名
人文学部	日本文化学科	若干名	—
	英米文化学科	若干名	—

2部 (夜間部)		(人)	
学部・学科		社会人	
		I期	II期
*経済学部 (経済学科・地域経済学科)		14	14
経営学部	経営学科	7	6
*法学部 (法律学科・政治学科)		15	面接15 小論文10
人文学部	日本文化学科	10	—
	英米文化学科	7	—

\*経済学部・法学部は「学部」単位での募集になります。  
学科は1年次末に決定します。

## 2 出願資格・選抜方法

次の一般要件〔A〕のいずれかに該当する者で、かつ、出願する学部の特定要件〔B〕を満たす者

一般要件 (A)	要件
	(1) 高等学校を卒業した者（ただし、定時制・通信制高等学校については、平成28年3月卒業見込みの者を含む） (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学省が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 ④ 文部科学大臣の指定した者 ⑤ 高等学校卒業程度認定試験に合格した者および平成28年3月31日までに合格見込みの者（大学入学資格検定に合格した者） ⑥ その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学で認めた者

学部・学科	要件	特定要件 (B)	選抜方法		
			書類審査	小論文	面接
*経済学部 2部 (経済学科・地域経済学科)		平成28年3月31日までに、満19歳以上に達する定職者で、半年以上の就業経験（自営業従事者を含む）を有する者、または満21歳以上に達する者。合格した場合は必ず本学部に入學して修学する意思のある者	○		○
経営学部 1部 経営学科 経営情報学科		平成28年3月31日までに満23歳以上に達し、社会経験（正社員、自営業従事者、契約社員、専業主婦等の経験）を3年以上有する者（アルバイト・家事手伝いは除く）	○		○
経営学部 2部 経営学科		平成28年3月31日までに満19歳以上に達し、正社員、自営業従事者、契約社員等として現に就業し（アルバイト・家事手伝いは除く）、本学部入学後も就業しながら修学することを確約できる者、または平成28年3月31日までに満21歳以上に達し、社会経験（正社員、自営業従事者、契約社員、専業主婦等の経験）を有する者（アルバイト・家事手伝いは除く）で、合格した場合は必ず本学部に入學して修学する意思のある者	○		○
*法学部 2部 (法律学科・政治学科)		<面接方式・小論文方式ともに> 平成28年3月31日までに満19歳以上に達する定職を有する者（アルバイトは除く）、または、平成28年3月31日までに満21歳以上に達する者（定職の有無を問わない）		面接方式 ○	○
人文学部 1・2部 日本文化学科 英米文化学科		平成28年3月31日までに満23歳以上に達する者	○		○

VI

社会人特別  
入学試験

○経済学部では「1・2部社会人特別編入学試験」、経営学部では「2部社会人特別編入学試験」を実施しています。場合によっては、社会人特別編入学試験の出願資格を満たし、3年次に編入できる可能性がありますので、それぞれの学部事務室にお問い合わせください。

### 3 社会人入試日程一覧

期	I 期					II 期			
学部	*経済学部	経営学部		*法学部	人文学部	*経済学部	経営学部		*法学部
学科	2部 (経済学科)  (地域経済学科)	1部 経営学科  1部 経営情報学科	2部 経営学科	2部 (法律学科)  (政治学科)	1・2部 日本文化学科  1・2部 英米文化学科	2部 (経済学科)  (地域経済学科)	1部 経営学科  1部 経営情報学科	2部 経営学科	2部 (法律学科)  (政治学科)
出願期間	平成27年11月2日(月)～(郵送)11月12日(木)消印有効 (窓口)11月13日(金)午後4時締切(※) (※)日曜・祝日は窓口受付は行いません。					平成28年2月13日(土)～(郵送)2月20日(土)消印有効 (窓口)2月22日(月)午後4時締切(※) (※)日曜・祝日は窓口受付は行いません。			
受験票 発送日	平成27年11月19日(木)前後に郵送します					平成28年2月24日(水)前後に郵送します			
試験日	平成27年11月29日(日)					平成28年2月27日(土)			
試験時間	各自受験票記載							小論文 10:00 } 11:20	面接 10:00 }
選抜方法	面接							小論文	面接
試験地	札幌 北海学園大学 豊平校舎(学生ロビーに会場案内を掲示します) (所在地) 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 TEL 011-841-1161(代) ※試験場案内図は66頁参照								
合格発表	平成27年12月11日(金)午前10時 (北海学園大学 豊平校舎)					平成28年3月17日(木)午前10時 (北海学園大学 豊平校舎)			
入学手 続 期 間	(納入金) 平成27年12月11日(金)～12月24日(木) (手続書類) 平成28年2月24日(水)～3月10日(木)					(納入金・手続書類) 平成28年3月17日(木) ～3月24日(木)			

\*経済学部・法学部は「学部」単位での募集になります。学科は1年次末に決定します。

- 面接は個人面接を原則としていますが、志願者数によってはグループ面接になる場合があります。なお、個人面接の時間は15分から20分程度を予定しています。
- 試験時間(各自受験票記載)の15分前までに会場案内図での指示に従って着席してください。

#### 選抜方法について

- 経済学部・経営学部・人文学部の社会人面接試験は、志望理由書の記載事項や、これまでの社会経験などが主たる内容となります。
- 法学部の社会人面接試験は、次の2つの内容について行われます。
  1. 「大学生活への意欲」  
受験の動機・目的や入学後の計画など、勉学意欲を中心として活気ある学生生活を送ることができるかどうかを確認します。
  2. 「時事問題への関心度」  
面接の場で法律または政治に関する時事問題から数個のテーマを提示します。その中からもっとも関心のある問題を1つ選択し、その問題をめぐる質疑応答を通して、法学部で学ぶ意欲と能力を確認します。
- 法学部の社会人小論文試験は、論説文を読んで内容を要約し、関連するテーマに関して受験者の考え方を問う設問に答えてもらうものです。

## 4 出願書類

学 部	*経済学部	経営学部	*法学部	人文学部
学 科	2部 (経済学科) (地域経済学科)	1・2部 経営学科 1部 経営情報学科	2部 (法律学科) (政治学科)	1・2部 日本文化学科 1・2部 英米文化学科
選抜方法 出願書類	面 接	面 接	面接または小論文	面 接
入 学 願 書 (特別入試用)	○	○	○	○
調 査 書 (出願前3ヵ月 以内に発行 されたもの)	○	○	○	○
志望理由書 (様式6)	○	○	○	○
経 歴 書 (様式4)	○	○	○	○
在職証明書 (様式5) または社会保険証 の写し			入学までに満21歳に 達しない者 ○	
写 真	○	○	○	○
注意事項	<p><b>入学願書 (特別入試用)</b> 特別入試用の願書を使用し、「入学願書記入上の注意および記入例」を参照し、記載事項すべてについて記入してください。</p> <p><b>調査書 (出願前3ヵ月以内に発行されたもの)</b> 調査書は出身高等学校の所定用紙で、学校長が証明し厳封したもの。高等学校卒業程度認定試験に合格または合格見込みの者は、合格成績証明書または合格見込成績証明書を提出してください。大学入学資格検定に合格している者は、合格成績証明書を提出してください。 なお、<b>既卒業者で調査書の発行が不可能な場合は</b>、成績証明書(または単位修得証明書)と卒業証明書の2点を提出してください。成績証明書が発行されない場合に限り、卒業証明書のみを提出してください。その場合、発行されない旨のメモ書き等を添えてください。 また、諸事情により氏名等に変更がある場合は「戸籍抄本(個人事項証明)」を提出してください。</p> <p><b>志望理由書 (様式6)</b> 本学所定用紙(巻末)を使用し提出してください。</p> <p><b>経済学部</b> テーマは①自分の仕事と入学志望の関連について、また、入学後特に勉強したいこと(400字程度)。 ②現在、最も関心をもっていることについて(経済の問題または地域経済・社会の問題)(300字程度)。</p> <p><b>経営学部</b> ①これまでの「社会経験」について(300字程度)。 ②自分の仕事と入学志望の関連について、および入学後特に勉強したいこと(400字程度)。</p> <p><b>法学部</b> 志望する理由を800字以内で記入してください。</p> <p><b>人文学部</b> これまでの社会的経験と入学志望の関連について、また、入学後、特に勉強したいこと(800字程度)。</p> <p><b>経歴書 (様式4)</b> 本学所定用紙(巻末)を使用し提出してください。</p> <p><b>在職証明書 (様式5) または社会保険証の写し</b> 該当する場合は、在職証明書(巻末の本学指定用紙を使用し、勤務先が出願前1ヵ月以内に証明したもの)を提出してください。在職証明書が提出できない者は、社会保険証の写しを提出してください。</p> <p><b>写真</b> 写真は、単身、正面、上半身、無帽、背景のないもの(カラー・白黒でも可)で縦3cm×横3cm、出願前3ヵ月以内に撮影したものを1枚、願書の写真欄に収まるように貼付してください。</p>			

\*経済学部・法学部は「学部」単位での募集になります。学科は1年次末に決定します。

VI

社会人特別  
入学試験

## 5 入学検定料の振込・出願上の注意について

6頁を参照して手続きを行って下さい。

## 6 出願方法と送付先

- (1) 出願書類は、本学所定の封筒（特別入試・併設校推薦入試用）を用いて、「速達簡易書留」で郵送してください。なお、封入の際には、封筒裏面のチェックシートで提出書類を確認してください。日本国外から願書を郵送する場合は、窓口締切日必着とします。
- (2) 出願書類送付先 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 北海学園大学 入試部入試課

## 7 受験上の注意

- (1) 試験会場は、本学の豊平校舎となります。試験場およびその周辺での駐車は禁止します。
- (2) 試験日前日に校舎の位置確認はできますが、校舎内の下見はできません。
- (3) 学部・学科により選考の所要時間が異なりますので、昼食は必要に応じて各自持参してください。
- (4) 試験日当日、受験票を忘れた方は直ちに入試課で再発行の手続きをしてください。
- (5) 小論文方式の受験者は、HBの鉛筆・シャープペンシル、消しゴムを持参してください。
- (6) 携帯電話およびこれに類するものを試験場に持ち込まれる場合は、電源を切り、カバンの中に入れてください。
- (7) 受験票は必ず持ち帰り保管してください。
- (8) 上履きは不要です。

## 8 合格発表

- (1) 合格発表日については、③社会人入試日程一覧（55頁）を参照してください。
- (2) 合格者には発表と同時に合格通知書と入学手続書類を速達便で郵送します。
- (3) 不合格者には、試験結果通知書を速達便で郵送します。
- (4) 合否について、電話等での問い合わせには、一切応じません。

◎この試験については成績開示をしませんので、試験結果についての確認・問い合わせには一切応じません。

### インターネットによる入試合格案内について

正式な合格発表は、大学構内の所定掲示板の公示、および本人宛てに郵送する通知によるものとしますが、受験生の便宜を考慮し、補助的な手段として本学ホームページの「入学案内」に、合格者受験番号一覧を掲載します。携帯電話からの閲覧には、対応していません。なお、掲載期間は、合格発表日よりおおむね1週間とします。

「入学案内」のアドレス <http://hgu.jp/admission/>

## 9 入学手続

- (1) 入学手続期間については、③社会人入試日程一覧（55頁）を参照してください。
- (2) 各手続期限までに所定の入学手続を行わない場合には、入学を認めません。
- (3) 提出する手続書類等
  - ① 卒業証明書（平成28年3月卒業生のみ）  
または、合格成績証明書（高等学校卒業程度認定試験合格見込みで受験した者のみ）
  - ② 学生カード
  - ③ 写真2枚（縦3cm×横3cm）
  - ④ 事項届
  - ⑤ 学生・学費支給者・保証人住所届以上の書類を入学手続期間内に、郵送（締切日必着）もしくは各学部事務室に持参してください。
- (4) 授業料等の納入延期について  
勤務条件の変更等、特別の事情がある者で授業料等の納入延期を希望する場合は、入学金を銀行または信用金庫窓口より振り込み、納入金手続期間中に本人（または代理人）が郵送または直接本学入試課窓口にて、次の必要書類を提出して許可を得なければなりません。また、Ⅱ期合格者は延期手続はできません。

### <提出書類>

- ① 振込金受付証明書 …… 本学所定の第一次手続（入学金）用振込用紙を使用し、入学金を振り込んだ証明書
- ② 第二次手続（授業料等）延期願 …… 本学所定の用紙に必要事項を記入し、押印する。
- ③ 第二次手続（授業料等）用振込用紙 …… 本学所定の授業料等の振込用紙  
この第二次手続（授業料等）の延期を許可された者に限り、平成28年3月24日（木）まで手続を延期

することを認めます。

なお、延期許可を受けた場合の第二次手続(授業料等)の詳細については、入学手続要項(合格通知書同封)で通知します。

(5) **授業料等納入金返還について**

所定の期間内に入学辞退・学費等納入金返還手続を行った場合、入学金を除く既納入金を返還します。詳細については、入試課にお問い合わせください。